

令和5年度一般社団法人京都府臨床検査技師会
定時社員総会議事録

日時：令和5年5月25日（木曜日）

開会：午後6時30分

閉会：午後7時20分

会場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

社員総数：1,261名

出席会員数：687名

（会場出席者数：24名）

（Web参加者数：28名）

（電磁的行使者数：635名）

令和5年度 一般社団法人京都府臨床検査技師会 定時社員総会議事録

開催日時：令和5年5月25日（木）18：30～19：20

開催場所：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

出席理事：江口 光徳・今川 昇・園田 真之・増田 信弥・相田 幸雄・荒井 久治・
小川 秀一郎・加藤 竜美・木下 博之・齊藤 祐巳子・滝本 寿史・中村 和彦・
原 健介・馬場 昭好・藤原 麻有・増田 健太・山田 雅・山本 裕之・横山 健輔・
和田 香織

Web出席理事：小畑 義規

出席監事：荻野 和大・林 孝俊

【総会役員選出】

司会者の荒井理事より、議長、書記、議事録署名人の選出提案を行う。議場内より希望者及び推薦者は無く、司会者から議長に今川副会長、書記に馬場理事、議事録署名人に江口会長並びに増田副会長を指名し、それぞれ選出した。

【総会成立状況の報告】

議長より、総会成立状況について出席者数、Web出席者数、書面行使者数の報告が、以下の通りなされた。会員数：1,261人、出席者24人、Web出席者28人、電磁的行使含む書面行使者635人、合計687人となり、本総会が過半数の出席となり定款第17条の規定により成立している旨の報告が有り、直ちに議事に移行した。

また、議長よりWeb参加者に対するの注意事項と賛否意思表示・質問時の方法について説明がなされた。

【議案内容報告及び議案審議の要請】

議長より、本総会の議案内容について、定款12条の定めにより、第1号報告、第2号報告、第3号報告は報告事項であること、第1号議案は決議事項である旨の発言がされ、議場内に第1号議案の審議要請を申し入れた。

【第1号報告：令和4年度事業報告書 報告の件】

江口会長より令和4年度の事業の総括報告があり、引き続き齊藤事業部長、山田学術部長より事業報告書に基づき報告が行われた。

江口会長の報告要旨：

令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症によって活動が制限された年度となりました。特に第7波・第8波により運営スタッフの感染、参加者の感染が増加したため研修会への影響は多大でした。そのような状況でも徐々に現地開催可能な研修会が開催されるようになり「第3回京都医学検査学会」や「京臨技北部学術発表会」などの事業が実施出来

ました。

精度管理事業では昨年度より京都府医師会との共催事業となり参加施設数も増えました。タスクシフト・シェアに関する厚生労働大臣講習会は、他府県では中止や延期が相次ぎましたが、京都府では順調に開催することが出来ました。子宮頸がん検診啓発活動などの健康啓発活動も徐々に開催出来るようになり、府民に向けての活動が再開できた一年でした。昨年度は京臨技 70 周年記念式典を開催しました。これまで京臨技を築いて頂いた方々、支援いただいている行政、大学関係、医療系団体、賛助会員の方々には感謝いたします。

齊藤事業部長の報告要旨：

衛生思想事業では「第 47 回暮らしと健康展」「子宮頸がん啓発活動 LOVE49」「検査と健康展」を行い多くの府民にご来場いただきました。感染対策のため活動範囲が限られたものもありましたが、府民の健康増進に寄与でき、また臨床検査技師を広く認知していただく良い機会となったと思います。開催されなかった事業は「京都府医療推進協議会主催イベント」「府・市民公開講座」「あやべ食育・すこやかフェスティバル」「舞鶴糖尿病講演会」でした。精度管理事業では一部京都府医師会との合同事業となりました。医療機関 61 施設、衛生検査所 18 施設、行政関連施設 3 施設、合計で 82 施設の参加がありました。実施項目は一昨年同様で京都府保健環境研究所の協力を頂き遺伝子部門の精度管理も実施しました。それにより遺伝子検査専門の衛生検査所の参加も見られ、参加施設増加の一因となりました。合同報告会も京都府医師会と合同で開催し、京都府医師会館をメイン会場、京都保健衛生専門学校をサテライト会場としWeb配信も行い 104 名の参加がありました。今回よりバーチャルスライドを導入しましたが、閲覧ソフトの容量が大きくデータダウンロードに問題が発生したため、次回よりクラウド上のデジタル標本画像の閲覧できる仕組みを導入する予定です。今後も府内における臨床検査技師の精度向上を目的としたより良い精度管理強化事業に向けて京都府医師会と協力して行っていきます。

広報事業ではホームページやメールマガジン、行事予定表を利用して学術活動や事業活動の広報を行いました。また技師会活動の詳細な報告は、定期発行している会誌やニュースレターで会員に周知していただくよう努めました。ホームページのリニューアルによって技師会からの案内もデジタル発信となり、最新情報を速やかに掲載することが出来ました。特に研修会は「お知らせ」から直接参加申し込みが出来るようになり利便性が向上しました。また会員ページでは休止していた「コラム」を「エッセイギャラリー」としリニューアルしました。

市民・資格者向け啓発事業では「定時総会」「新入・転入会員研修会」「京臨技北部学術発表会」「施設連絡者会議」「京都病院学会」「京都医学検査学会」「タスクシフト・シェア実技講習会」を行いました。「タスクシフト・シェア実技講習会」は計 4 回開催することが出来ました。京臨技以外の会員からの参加も受け、多くの会員が技術習得に励むことが出来ました。今年度は 2 か月に 1 回の間隔で計 6 回開催を目指します。京臨技は昭和 27 年 7 月に「京都衛生検査技術者会」として設立され令和 4 年 7 月に 70 周年を迎えました。これを記念し創

立 70 周年記念式典を開催しました。22 名のご来賓を招聘し、うち 3 名から祝辞を賜りました。表彰式では「会長賞」として 2 団体に感謝状を贈呈し「功労者表彰」として 1 名に表彰状を贈呈しました。70 年間京臨技を育ててくださった先人の方々の功績に感謝するとともに、これからの京臨技の発展に努めていきたいと思ひます。

共催・後援・協賛・協力事業では会員の利益となる事業に対し積極的に協力しました。今年度も同様に努めます。

総務事業ではデジタル会員証を導入し会員の利便性向上とコスト削減を実現しました。「お知らせ」バナーで各種情報提供を行い、京臨技の普及活動を行うとともに、会員からのホームページ問合せに対しても迅速な対応に努めました。

京臨技からの推薦により荻野和大監事が令和 4 年度秋 瑞宝双光章を受賞、豊山浩祥元理事が令和 4 年度京都府保健医療功労者を受賞されました。

山田学術部長の報告要旨：

研究講習事業では新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、Web開催だけではなく現地での研修会を多く開催することが出来ました。近年出来なかつた実技講習会も、十分な感染対策を講じた上で各研究班が積極的に企画しました。事業数は年間 37 回と減少したものの参加総数は一昨年度を上回る 1,620 名が研修会に参加しました。日臨技推薦事業研修会も 20 回と年度回数の上限まで開催することが出来ました。各研究班の皆様には企画、準備、開催まで多くのご負担いただき会員の知識技能向上に貢献されたことに深く感謝致します。

市民・資格者向け啓発事業の一環として 2 月 23 日に「第 3 回京都医学検査学会」を開催しました。今回初めて一般参加者が現地参加できるハイブリッド形式で行い、総参加者 153 名のうち 53 名が現地参加でした。賛助会員の協賛はホームページの広告掲載として 10 社に協力いただきました。会場では質疑応答など活発なのやり取りも多く見られ、現地開催ならではの良さが感じられました。Web参加でも多くのリアクションがあり、参加形式に関わらず盛況な学会となりました。

以上報告の後、議長より議場内及びWeb参加者に第 1 号報告についての質問等を受け付けた。特段の質疑が無いことから、第 2 号報告の報告に進行する旨伝えた。

【第 2 号報告：令和 5 年度事業計画書 報告の件】

江口会長より令和 5 年度の事業計画書に基づき報告が行われた。

江口会長の報告要旨：

新型コロナウイルス感染症も 5 月に 5 類扱いとなり、今年度は様々な事業展開をしていきたいと思ひます。しかしWeb配信も一部残し、子育て世代の会員や遠方の会員も参加出来る形態を継続していきたいと考えています。学術事業、衛生思想事業についても各研究班や関連団体と協議しながら計画通り進めていきます。「タスクシフト・シェア実技講習会」も継

続して進めますので、まだの方は是非とも参加をお願いいたします。昨年度は70周年の節目となり、計画していた記念誌の発行を今年行う予定です。現在は印刷作業の段階に入っています。今年は行政関連、医療系団体、近畿技師会ともつながりをさらに強化し、共同企画の開催も行いたいと考えています。

衛生思想事業は引き続き「子宮頸がん啓発活動 LOVE49」や「検査と健康展」も行う予定です。「子宮頸がん啓発活動 LOVE49」の開催概要は未定ですが、「検査と健康展」は11月11日にイオンモール京都桂での開催を計画しています。「府・市民公開講座」「あやべ食育・すこやかフェスティバル」「舞鶴糖尿病講演会」も今年は開催したいと思います。

精度管理事業では昨年度に引き続き、京都府医師会との共催を予定しています。バーチャルスライドはデータの閲覧がしやすい仕組みに変更するよう取り組んでおり、また血液像や一般検査でも利用できればと考えております。

研究講習事業では各研究班が計画している事業がすでに始まっており、会員の皆様にはぜひ参加していただきたいと思っております。

広報事業は引き続き会誌やニュースレター、ホームページなど随時更新を行い、メールマガジンも毎週日曜日に配信していきます。

会員向け啓発事業としては「定時総会」「新入・転入会員研修会」「京臨技北部学術発表会」「施設連絡者会議」「京都病院学会」「地域ニューリーダー育成研修会」「初級職能開発講習会」など昨年度は開催出来なかったものも含め今年度は開催していきたいと考えています。「第4回京都医学検査学会」については令和6年2月23日に開催を予定しています。また「タスクシフト・シェア実技講習会」は2か月に1回のペースで行う予定ですので、ぜひお声がけして参加していただくようよろしくお願いいたします。

共催、協賛協力後援事業では引き続き会員の利益となるような事業に積極的に協力していきたいと考えています。

議長より、議場内及びWeb参加者に第2号報告についての質問等を受け付けた。特段の質疑が無いことから、第3号報告の報告に進行する旨伝えた。

【第3号報告：令和5年度予算計画書 報告の件】

江口会長より令和5年度の予算計算書に基づき行われた。

江口会長の報告要旨：

当年度の経常収益計として¥11,993,100を計上。

会員の増加を目指します。また、日臨技推進事業20事業、「検査と健康展」の開催することで日臨技委託金として予定しています。経常費用としては、衛生思想事業は昨年度と同様の予算としています。精度管理事業や研究講習事業では現地集合での会議を進めるため会議費増としています。会誌事業では70周年記念誌を含めたため増額した予算としています。経常費用計としては合計¥11,993,100とし、収支±ゼロとしています。

議長より、議場内及びWeb参加者に第3号報告についての質問等を受け付けた。特段の質疑が無いことから、決議事項の報告、審議に入る旨伝えた。

【第1号議案：令和4年度決算報告書 承認の件】

江口会長より令和4年度の決算報告が、貸借対照表及び正味財産増減計算書、財産目録等の決算報告書に基づいて行われた。

江口会長の報告要旨：

京臨技の口座が複数あり管理が煩雑であったため、京都銀行に集約しました。

令和4年度の経常収益は¥12,828,021となりました。経常費用として衛生思想事業や精度管理事業、市民資格者向け啓発事業では現地会議が増えたため支出増となりました。研究講習事業も活動が多くなったため支出増となっています。また、管理費も理事会の現地開催が増えたため支出増となっています。経費合計は¥10,122,157となり、最終的には、全体として¥2,705,864の黒字収支となりました。収益については今年度の講習会などで会員へ積極的に還元できるよう考えていきます。

続いて、荻野監事より一般社団法人京都府臨床検査技師会定款23条1項に基づき、会計帳簿及び事業報告に関して監査した結果、会計は正確に処理されており、会務は適正に運営されていることを認めるとの報告がなされた。また、一般社団法人として京臨技の研究講習事業を予定通り開催し、会員への還元を期待するとの言葉を頂いた。

(質疑)議長より、議場内及びWeb参加者に第1号議案につき質問等を受け付けた。

(承認)議場内及びWeb参加者から質疑が無かったため、議長から採決が提案され、第1号議案は出席者の過半数の挙手を持って原案通り承認可決された。

【閉会宣言及び本総会役員解任の件】

議長から、本総会の議事、議案の終了宣言と、本総会の役員解任宣言がなされた。

本総会の議事の経過要領及びその結果を証する為、本議事録を作成し議長並びに議事録署名人は、次に記名捺印する。

令和5年5月25日(木)

令和5年度 一般社団法人京都府臨床検査技師会 定時社員総会

議 長 : 今川 昇 ⑩

議事録署名人 : 江口 光徳 ㊦

議事録署名人 : 増田 信弥 ⑩